早稲田大学

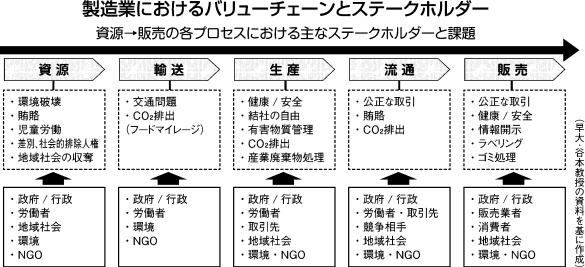
心が高まっている。こうしたトレンドを受け、

モノづくり

続可能なものづくり」の根本を考える

サステナビリティ時代の経営学

ノラインセミナー



2000年代に入って海 るNGOの影響力も大き テークホルダーの根本的 くなり、不祥事に対する 企業の行動をウオッチす な関係が変化してきた。 株比率が高まったり、働 海外の機関投資家の持ち 旦持ち合い関係が崩れて 以降、法人間の株式の相 へと組織との関係も変 企業とス

排出されたかを計算し価

(CO²) がどれくらい

イシングといった考え方

小売りなど関係するステ

関に働きかけている。ま

含めて企業を評価するこ

これら三つの要素が

とが求められている。

の製薬会社ノバルティス

例えばスイス

関係するステーク

資本主

れを提唱したJ・エルキ

いてより重要性を増す れはコロナ禍の時代にお

いうことであるが、こ

していないと述べてい

日本では1990年代

る取り組みだけではな

さらにサ

題にしても、

本社におけ

ことを検討している。

近年CSRのイニシア

は誰であるか、といった重要なステークホルダー

ることが大事だ。

おいてCSRの課題や

バリューチェーンに

ックする体制を構築、 いる。日本企業は積極

01年頃か

ないといけない。

まれている。例えば、

ホルダーによって取り組

マルチステーク

チェーン全体を通し 調達から廃棄までと

生産と供給のための円卓

情報に格差が存在する。

農場や製油業者、

ムオイルの持続可能な

フライチェーン全体を見

義システムを作っていく

もある。経済的な利益だトムライン」という言葉

けのシングルボトムライ

環境、社会を

だが同時に経済性も含め

的に取り組む必要がある

るかを明らかに

し、どのような経

のあり方は、

ここ22年く

いで大きく変わってき

グローバル

タルに評価するこ

を振り、経団連や地方自 治体も関わり、 **企業が自分たちの得意** 技術を使って取り組み 多くの日 たそうした話が出ていコロナ禍の時代に、ま 議論がなされてきた。 ものである、

企業をトー

らえていくことを意味す 繰り返し議論されてき に配慮した経営を行

くりに求められることに

販売と どのよ

いて考えておきたい

マルチステークホルダーとの連携を

E

S

G

働く人々の安全から人権は、SA8000という

判が出てきた時に、会社ぎた株主資本主義への批 は株主だけのものではな う議論は5年から10年ご う言葉がよく聞かれる。 行き過

させることなく現在のこ 展」は、先進国にも求め られることだ。それは ズに沿って発展させる と定義されている

参画するようになった。 になった。 題も同時に議論するよう として、経済・社会の問 に関する世界サミット

それぞれの国に特有の課

ある。 支援といったイメージが 「持続可能な発

スチャンスととらえる

対応が分かれる。S

ムと異なり、

従業員や顧客、

感じるか、新たなビジネ

それを負担と

時代ごとにさまざまな議

ムもあった。

会社は誰のものか、

USR(企業の社会的責

D

G

Sブ

でなく「持続可能な発展 ノルクでは環境問題だけ

択された。

言葉には開発途上国への

と訳すことが多いが、 なかったと言える。 の制度化は進んでも、 本語では「開発」という ところで、SDG sを

った。そこでは「アジェ 境開発会議はエポックメ 持続可能な発展を目指す に取り組むこと、 にめの国家戦略を策定す 途上国がそれぞれ課題 92年のリオの国連環 各国は

に出てきたわけではな

SDGsの考え方は急

るような形でゲコーバレ考え、三つの領域が重な

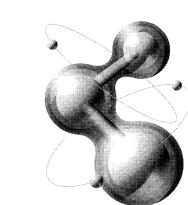
に議論する必要がある、

問われるようになってき

その10年後、ヨハネスることが盛り込まれた。 の議論が重ねられ、

に国連の場で各国が参加 戦略を立ててきた。さら 的統合を確かにするため 的繁栄•環境保護•社会 2000年代に入り経済 たのがSDGsだ。 ということでまとめられ (欧州連合) では

ャル・イノベーションなどの研究の第一人者である早稲田業と社会」論、サステナビリティ・マネジメント、ソーシ 日本会議は5月28日に、「『持続可能なものづくり』の根 禍で社会が混乱し企業経営も大きな痛手を受けているが*、* 本を考える―サステナビリティ時代の経営学」と題したオ たからこそ持続可能な社会づくりに向けた企業の本気度が 大学商学学術院商学部教授の谷本寛治氏。 (ウェビナー) を開催した。講師は「企 折からのコロナ



6日ノづくりへの挑戦

の見方があったが、 譲論の中身も変わってき を享受できていない。 になる、といったバラ色 また持続可能な発展の 80年代後半から地球

ると考えられるようにな てMDGsが掲げられ 標・ミレニアム目標とし 国の貧困問題がクローズ るようになった。その

要になっている。何のたのエンゲージメントが重 々なステークホルダーと また各企業レベルでも様 という訳ではない。ステ 究はまだこれからであ 的にこのプロセスに関わ クホルダー間にも力や のあり方についての研 マルチステークホルダ ベストな方法がある ■ モノづくり日本会議 主な行事・活動

◆米「自動運転車サミット」に参加 6月25、26日 (米時間) に開催されたオ ンラインイベント「2020自動運転車サミッ ト」に、モノづくり日本会議として参加し ました。米テクノロジーメディアのThe Informationの主催で、今回

が4回目。自動運転のスタートアップ10数 社が対談やパネル討論に登場。440人以上 の視聴者が参加し、チャット経由で登壇者 との活発な質疑応答も行われました。

チ

うち当会議の会員企業(幹事会員以上) からは3人が参加し、「各社の考えているこ

と、業界全体の方向性を感じ取ることがで きて有意義だった。自動運転が技術開発の 段階から、どのようにサービスを展開して いくかという段階に来ていることを実感し た」といった感想が寄せられました。近く モノづくり日本会議の会員向けに同サミッ

トの参加リポートを配信します。

◆ハノーバーメッセでもリポート 世界最大級のドイツの産業見本市「ハノ ーバーメッセ」が中止となった代わりに、 「ハノーバーメッセ デジタルデイズ」と

名付けたウェブイベントが7月14、15日に 開催されます。テーマは「インダストリー 4.0」「人工知能 (A I)」「スマートエ ネルギー」「ロジスティクス4.0」。こち らも後日、会員向けリポートを配信する予 定です。

太古の時代から大地に根を張ってきた巨 黒風白雨、自然の猛威にさらされても 変わることなく立ち続けてきた。 大樹が豊かな自然を育み、 **小さな部品が豊かな未来を築く** 自然から学ぶ不朽のモノづくりを。

おかげさまで

17回目



技と感動の結晶」を募集します

モノづくり日本会議と日刊工業新聞社は、日本のモノ づくりの競争力向上を支援するため、産業・社会の発展に 貢献する 「縁の下の力持ち」 的存在の部品・部材を対象に 「超モノづくり部品大賞」を実施しています。

2020年で17回目となります。03年に「モノづくり部品 大賞」として創設し、08年から現名称となり、現在「機械・ ロボット」「電気・電子」「モビリティー関連」「環境・資源・ エネルギー関連」「健康福祉・バイオ・医療機器」「生活・社会 課題ソリューション関連」の6分野を表彰対象としていま す。受賞部品は16年間で累計約570件にのぼります。

日本の産業界には、災害に強い国土の形成や環境・エ ネルギー問題の解決、さらなる顧客満足度の向上などに 向けて、新しいモノづくりが求められています。

技術革新や新市場創造には、優れた部品や部材が欠か せません。日本のモノづくりに寄与する卓越した部品・部 材を広く募集いたします。

^{募集期間} 2020年3月1日~7月21日

◆発表 10月(予定) ◆贈賞式 11月(予定)

応募方法 ウェブページからダウンロードしてください。

本賞の専用ウェブページ(https://award.cho-monodzukuri.jp) からpdf、word形式でダウンロードいただけます。

彰 優秀部品30件程度に「部品賞」を授与し、賞金を 贈呈します。

「部品賞」の中で特に優秀と認めたものには「部品大賞」を贈りま

選定の「部品大賞」には賞金30万円、「部品賞」には賞金10万円

を贈ります。

「部品大賞」など特に優れた部品を対象に、開発企業の想いや 部品の特徴を紹介する映像を制作し、贈賞式などで上映します。

主催:モノブくり日本会議/日刊工業新聞社 後援:経済産業省/日本商工会議所/日本経済団体連合会

モノづくり日本会議 🚳モノづくり部品大賞 事務局 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町 14-1(日刊工業新聞社内) お問い合わせ TEL.03-5644-7608 FAX.03-5644-7209 e-mail: buhin@media.nikkan.co.jp

https://award.cho-monodzukuri.jp 部品大賞

検索